

## 会 告

## 第 88 回講演大会講演募集案内

申込（原稿同時提出）締切り 昭和49年7月29日（月）

本会は第88回講演大会を昭和49年11月3日（日）、4日（月）、5日（火）の3日間近畿大学（東大阪市小若江3111）において開催することになりました。下記要領により講演募集をいたしますので、奮つてご応募下さるようご案内いたします。

講演希望者は昭和49年7月29日（月）までに申込用紙と講演概要原稿を提出して下さい。

## 講演ならびに申込要領

1. 講演内容 鉄鋼の学術、技術に直接関連あるオリジナルな発表。
2. 講演時間 1 講演につき講演15分、討論5分
3. 講演前刷原稿
  - 1) 原稿は目的、成果、結論が理解しやすいよう簡潔にお書き下さい。
  - 2) 設備技術に関する原稿には計画にあつての基本方針、特色、成果等が必ず盛込まれているものとする。
  - 3) 商品名等は原則としてご遠慮願います。
  - 4) 謝辞は省略して下さい。
  - 5) 原稿枚数は原則として所定のオフセット用原稿用紙（1600字詰）1枚とします。しかし内容的に止むを得ない場合は2枚までを認めます。（いずれも表、図、写真を含む）原稿が2枚にわたり執筆された場合には編集委員会で査読のうえ1枚にまとめなおし願うことがありますのであらかじめご了承下さい。
  - 6) タイプ印書あるいは黒インキまたは墨を用い手書きとして下さい。
  - 7) 原稿用紙は（次ページ）のように有償頒布いたしております。
4. 講演申込資格 講演者は本会会員に限ります。非会員の方で講演を希望される方は、所定の入会手続きを済ませたうえ、講演申込みをして下さい。また共同研究者で非会員の方も入会手続きをされるよう希望いたします。
5. 講演申込制限 講演申込みは1人3件以内といたします。
6. 申込方法 本誌クリーム頁末添付の講演申込用紙に必要事項を記入の上、講演前刷原稿とともにお申し込み下さい。
7. 申込用紙の記載について
  - 1) 申込用紙は（A）、（B）とも太字欄をのぞき楷書でご記入下さい。
  - 2) プログラム編成上の参考といたしますので、「講演分類欄」に講演内容が、次ページ講演分類のいずれに該当するか、番号でご記入下さい。
  - 3) 講演者には氏名の前に○印を、また研究者氏名にはローマ字読みを付して下さい。
  - 4) 講演要旨は、情報管理のための文献検索カードに利用いたしますので講演内容が明確に把握できるようおまとめ下さい。
8. 申込みの受理 下記の申し込みは理由のいかんにかかわらず、受付はいたしませんので十分ご注意下さい。
  - 1) 所定の用紙以外の用紙を用いた申込
  - 2) 必要事項が記入されていない申込
  - 3) 単なる書簡または葉書による申込ならびに電報、電話による申込
  - 4) 文字が読みづらいもの、印刷効果上不適当なものと認められるもの
9. 申込締切日 昭和49年7月29日（月）17時着信まで  
申込用紙、講演前刷原稿を同時提出のこと。
10. 申込先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階  
（社）日本鉄鋼協会 編集課

講演分類

製 鉄		製 鋼				加 工						
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
製鉄基礎	原料・燃料	高炉製鉄	特殊製鉄	フェロアロイ	製鉄耐火物	製鋼基礎	溶解・精錬	造塊	製鋼耐火物	塑性加工	熱処理	表面処理・防食
加 工			性 質									
14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
鑄造	粉末冶金	溶接	金属物理	金属組織	鋼の性質	鉄鋼材料	鑄鉄・鑄鋼	分析	試験・検査技術	計自動制御	IEその他	その他

オフセット用原稿用紙有償頒布について

講演大会における講演前刷原稿は、所定のオフセット用原稿用紙を用いお書きいただいておりますが、下記により有償頒布いたしますのでお知らせいたします。  
講演申し込みは別掲のごとく前刷原稿を同時に提出することになっておりますので、講演発表ご希望の方は締切日より20日以上余裕をもつて購入手続をとられるようお願いいたします。

記

- 頒布料金 1枚5円 (頒布の枚数は下記のとおり限定いたします。なお料金は送料込)  
5枚 95円, 20枚 215円, 40枚 375円  
10枚 135円, 25枚 270円, 50枚 500円  
15枚 190円, 30枚 295円  
100枚以上は小包となりますので係までお問い合わせ下さい。
- 申込方法 ①オフセット用原稿用紙, ②枚数, ③送付先明記のうえ, ④料金(切手でも可)を添えお申し込み下さい。
- 申込先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階 日本鉄鋼協会 編集課

第1回エレクトロスラグ再溶解に関するシンポジウム講演募集

鉄鋼基礎共同研究会・特殊精錬部会主催

エレクトロスラグ再溶解の物理と化学、および現場作業上の諸問題に関するシンポジウムを下記のように開催いたしますので、御講演をご応募下さいますように御案内いたします。

記

- 期 日 昭和49年9月24日(火) 9:30~17:00
- 会 場 名古屋大学工学部大会議室  
(名古屋市千種区不老町)
- 講演申込締切日 49年7月20日
- 講演予稿原稿締切日 49年8月20日  
(原稿は日本鉄鋼協会用所定のオフセット用紙10枚

- 以内)
- 申込先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4  
経団連会館ビル3階 日本鉄鋼協会内  
鉄鋼基礎共同研究会特殊精錬部会  
Tel. 03-279-6021

本シンポジウムにおいては、討論時間を充分にとるため御申込みになられた講演の一部を申込み者と協議の上次回にまわさせて頂くこともあるかと存じます。また御講演の内容は既発表のものでも、また別な角度より考察がゆきとどいていればさしつかえありません。

## 昭和 50 年春季 (第 89 回) 講演大会討論会

### 討論講演募集のお知らせ

昭和 50 年春季 (第 89 回) 講演大会に開催されます討論会講演を下記により募集いたしますので奮ってご応募下さるようご案内いたします。

#### 1. 討論会テーマ

- 1) コークス性状の高炉操業に及ぼす影響 座長 中村 直人  
(内容は追ってお知らせいたします)

2) 連铸鑄片の表面性状 座長 浅野 鋼一

連続鑄造法の導入はめざましく、量的にも質的にも急速に進歩している。

しかしながら、安定した成品を後工程に供給するという面からは、まだまだ研究すべき内容は多い。とくに鑄片の表面疵に関しては、疵の生成機構、パウダーとの関連、最適冷却法など不明な点が多くまだ系統的に理解されていないと考えられるので、今回とくに討論テーマに選び、今後の発展の手がかりにしたい。

3) 大型鋼材の熱処理 座長 田中 実

周知のように極厚鋼板、厚肉の鍛鋼品および鑄造品に優れた機械的性質を付与せしめるためには、それぞれに応じた適正な熱処理法を必要とする。近年鋼材の焼入性の評価をより一層正確にし、少量の残留合金元素の影響が再検討されつつあることも、この一端を反映しているものと考えられる。

本討論会では、上記の大型部品用鋼材の熱処理を中心とし、焼入性、焼もどし脆性、熱処理方法 (スプレー焼入、ローラー焼入など)、また残留応力の推定、除去および変形などにつき会員諸兄の活発な論議意見の交換を期待している。

4) 低温用鋼の組織と機械的性質 座長 荒木 透

液体窒素温度までの極低温に用いる高強度構造用鋼についてつぎの趣旨により講演討論を行なう。

a) 含 Ni 系焼もどしマルテンサイト組織, b) 強化オーステナイト組織, c) Fe-Ni 系 bcc マルテンサイト組織, の各組織を有する鋼において、降伏強度と低温靱性を主体とした機械的性質が成分設計、熱処理、TMT その他の手段により如何に改善しうるか、についての最近の話題を中心とする。

2. 申込締切日 昭和49年8月12日(月)
3. 申込方法 本誌クリーム頁末綴込みの申込用紙に必要事項ならびに申込書裏面に400字程度の講演のアブストラクトをお書きのうえお申し込み下さい。
4. 討論講演の採否 討論講演としての採否は、前記ご提出のアブストラクトにより検討のうえ決めさせていただきますので、あらかじめお含みおき下さい。
5. 講演前刷原稿締切日 昭和49年11月11日(月)  
討論講演として採用された方は、本会所定のオフセット原稿用紙4枚以内(表、図、写真を含め6,700字)に黒インクまたは墨をもちいて楷書で明りようにお書きのうえ、ご提出下さい。
6. 講演テーマ・講演者の発表 「鉄と鋼」第61年第1号(昭和50年1月号)にて発表いたします。
7. 講演内容の発表 「鉄と鋼」第61年第2号(2月号)に講演内容を掲載いたします。
8. 討論質問の公募締切日 昭和50年2月末日  
前記2号掲載の講演内容をご覧のうえ、質問対象講演を明記のうえ、本会編集課宛ご送付下さるようお願いいたします。

申込先: 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3階  
日本鉄鋼協会編集課 TEL 03-279-6021 (代)

## 第27・28回西山記念技術講座開催のお知らせ

—— テーマ：製鋼技術の現状と今後の展開 ——

主催 日本鉄鋼協会

第27・28回西山記念技術講座を下記により開催いたしますので、多数ご来聴下さるようご案内いたします。

### I 第27回(東京)

- 1) 期日 昭和49年8月27日(火), 28日(水)
- 2) 会場 農協ホール(千代田区大手町1-8-3 農協ビル9階)

### II 第28回(北海道)

- 1) 期日 昭和49年9月9日(月), 10日(火)
- 2) 会場 新日本製鉄室蘭製鉄所本事務所3階講堂(室蘭市仲町12)

### III 演題ならびに講師

第1日	9:30~12:00	真空処理法の諸問題	新日本製鉄	恵 藤	文 二
	13:00~15:00	ESRプラズマなどの再溶解の進歩	日本特殊鋼	沢 繁	樹 美
	15:00~17:00	電気炉製鋼の最近の進歩	大同製鋼	牛 山	博 三
第2日	9:30~12:00	純酸素転炉の最近の進歩	日本鋼管	若 林	専 一
	13:00~15:00	連続鑄造の諸問題	川崎製鉄	古茂田	敬 清
	15:00~17:00	精錬用耐火物の諸問題	新日本製鉄	杉 田	

### IV 講演内容

#### 1. 真空処理法の諸問題 恵 藤 文 二

真空処理法のうち最近広く使用されているD-H, R-H, 取鍋脱ガス法に就ての現況, 問題点並びに高合金鋼特にステンレス製造の際, 転炉または電気炉の精錬機能の一部を代行して生産性, 品質, 生産コスト低減に使用されている真空精錬法について述べる. また各種脱ガス法, 真空精錬法の比較および今後の動向についても言及した.

#### 2. ESRプラズマなどの再溶解の進歩 沢 繁 樹 (内容は追つてお知らせいたします)

#### 3. 電気製鋼の最近の進歩 牛 山 博 美

電気炉における Ultra High Power 操業および助燃法, AOD によるステンレス製鋼法, 取鍋精錬を主体とした炉外精錬法, 還元鉄およびその電気炉における利用など最近注目を浴びている新技術について解説する.

#### 4. 純酸素転炉の最近の進歩 若 林 専 三

ここ数年の転炉技術の進歩は, 転炉技術そのものの進歩と, 転炉との組み合わせにより新しい特徴を生み出さんとする周辺技術の進歩とに大別される. 前者としては, (1)大型化高能率化の伸展, (2)環境管理技術の進歩, (3)自動化省力化の促進, (4)計算機制御の積極的導入, (5)炉体寿命の延長, などがあり, 転炉による年間1億トン出鋼の原動力となつている. 後者としては, (1)前工程の溶銑脱硫技術の開発, (2)後工程の特殊精錬技術の進歩, などがあり, 高級鋼製造技術の発展に寄与している.

#### 5. 連続鑄造の諸問題 古茂田 敬 一

連続鑄造製品の優位性, ならびに問題点について 特に機械構造との関連を述べ, かつこれらの問題点の対策について述べる.

#### 6. 精錬用耐火物の諸問題 杉 田 清

製鋼プロセスを対象に, 精錬用耐火物にみられる最近の技術的傾向と諸問題について, 各種の特殊精錬法も含めて概説し, 精錬技術と耐火物技術の関連を解説する.

さらに, 精錬用耐火物に関する基本的技術事項, すなわちスラグ, 溶鋼, 脱硫剤と耐火物の相互反応, 減圧雰囲気中での耐火物の挙動などについて紹介する.

また, 今後の精錬用耐火物の諸課題について若干の展望を試みる.

### V 聴講無料 (事前の申込は必要ありません)

### VI テキスト 2500 円

### VII 問合せ先 日本鉄鋼協会編集課 千代田区大手町1-9-4 TEL 03-279-6021

日本鉄鋼協会・日本金属学会九州支部共催第33回学術講演会および支部総会ならびに  
日本鉄鋼協会九州支部主催 第7回湯川正夫記念講演会開催案内

標記講演会・総会を下記のとおり開催いたしますので、多数ご参加下さいますよう御案内申し上げます。  
記

日 時 昭和 49 年 6 月 21 日 (金) 10:00~17:20

会 場 熊本大学工学部 (熊本市黒髪町)

第 1 会 場		第 2 会 場	
10:00	開 会 座長 堀 一夫		座長 川崎 獺雄
10:06	単球酸化鉄ペレットの水素還元における熱および物質移動 九 大 ○村山 武昭 久留米工業学園短大 沢村 企好	α 相 Ti 2 元合金の塑性変形 九 工 大 ○田上 耕司 三菱電機 江口 洋一 九 工 大 岡崎 謙二	
10:30	焼結原料の事前処理の効果 新日鉄 ○菅原 欣一	Ti-O 合金の引張変形中の可動転位の密度と速度 九工大 岡崎 謙二・○増田 行男	
10:55	白金電極-熔融ケイ酸塩界面におけるコンデンサー成分の測定 九工大 芦塚 正博・○大江 敬三 座長 沢村 企好	Fe-Ti 稀薄合金の応力緩和実験 九工大 岡崎 謙二・○香川 学 新日鉄 中山 正・高橋 延幸 座長 中尾 善信	
11:20	FeO-CaO-SiO <sub>2</sub> スラグ中への CaO の溶解速度 九 大 川合 保治・○森 克己 新日鉄 矢動丸成行	Fe-Al 規則合金の逆位相ドメインの成長 九 大 ○相根 博道・山村 明彦 沖 憲典・江口 鉄男	
11:45	フレームレス原子吸光度法による極微 As 定量方法の実用化 住友金属工業 清水 澄男・向井 昭 吉原 正任・○西村 彰二	交流法による電気抵抗測定とその格子欠陥の研究への応用 九 大 ○嚮田 政則・木下 智見 北島 貞吉	
12:10	昼		
13:00~13:15	支部総会.....会場：大講義室		
13:15~14:15	湯川記念講演..... " "		
	" 地熱発電について "		
	九州電力総合研究所 所長 久保田 克 人		
~~~~~			
14:25	共晶合金における組織の形成について 九 大 ○大城 桂作・松田 公扶 三菱重工 古川 友紀	銅, アルミニウムのX線透過トポグラフィ 九 大 ○美浦 康宏・西村 良文 海江田弘也	
14:50	Co および Co-CoSb 合金の過冷凝固 九工大 中尾 善信・小林 俊雄 ○水野 幸夫	銅の変形挙動に及ぼす亜結晶粒界の影響 九 大 ○喜代永 明・美浦 康宏 海江田弘也	
15:15	Fe-Zn 固体反応拡散に及ぼす圧力の影響 九工大 大西 正己・若松 良徳 ○三浦 博文	亜鉛の転位腐食孔 熊 大 ○頼田 英機・後藤 卓史 中島 裕生・川崎 獺雄	
15:40	Fe-Zn 擬 2 元系(δ <sub>1</sub> -Fe)の拡散について 九工大 大西 正己・若松 良徳 ○佐村光太郎 座長 大西 正己	Fe-Si 合金の引張諸特性値の温度依存性について 九工大 迎 静雄 高田工業所 ○藤原 諒 座長 北島 貞吉	
16:05	耐食耐摩耗性 Ti-Mo 系焼結体 日本タングステン 伊藤 普・○三橋 靖郎 田口 幸二	軟鋼の延性破壊に影響を与える要因について 九 大 豊島 清三・○小野寺龍太	
16:30	Fe-Ni 合金の高温酸化 九工大 迎 静雄 高田工業所 ○藤原 諒	平行ボンチ圧縮における材料内部の応力分布の測定 九 大 豊島 清三・○古賀 守	
16:55	ステンレス鋼およびAl合金の応力腐食割れの Mechanochemical mechanism による解析 九 大 ○大谷南海男 林 安德	欠陥の電顕像コントラストのコンピューターシミュレーション 九 大 ○黒田光太郎 友清 芳二・江口 鉄男	
17:20	閉 会		

### 第13回腐食防食に関する講習会 資源保護と安全対策

期 日 昭和49年8月19日(月)～23日(金)  
会 場 京都大学楽友会館(京都市左京区吉田近衛)  
主催 日本材料学会 共催 日本鉄鋼協会, ほか

第1日・第2日(19日, 20日)  
9:00 腐食の概要と電気化学 名工大 日根 文男  
第3日(21日) 腐食現象  
9:00 孔食・隙間腐食 住友金属 長野 博夫  
10:30 粒界腐食 神戸製鋼 下郡 一利  
13:00 応力腐食割れと水素, ぜい化 京大工 山川 宏二  
14:15 腐食疲労 京大工 駒井謙治郎  
15:50 高温腐食 三菱重工 原田 良夫

第4日(22日) 腐食試験の実際と問題点  
9:00 浸漬による腐食試験法の規格と応用 栗田工業 三輪 栄  
10:30 電気化学測定法 同志社大工 山下 正通  
13:30 大気腐食 山崎精機 横井 康夫  
15:30 シミュレーション 山崎精機 山崎正八郎

第5日(23日) 事故調査・防食管理  
9:00 事故対策の実際 川崎重工 森 稔  
10:30 腐食原因調査の実際 日本鋼管 松島 巖  
13:00 材料選定と防食設計 三菱重工 栄 幸雄  
14:20 防食管理 栗田工業 鈴木 隆

パネルディスカッション腐食と防食(15:40～17:00)  
司会 日本ペイント 大藪 権昭

定 員 100名 申込期限 8月3日(土)  
参 加 料 会 員 25,000円(共催学協会会員)  
非会員 30,000円(いずれもテキスト含)  
申込方法 氏名, 所属, 連絡先, 会員資格, 等を明記し  
参加料を添え, 期限までに次へお申込み下さい。  
申 込 先 日本材料学会講習会係  
606 京都市左京区吉田泉殿町1の101  
Tel. (075) 761-5321 振替口座 京都 26625

### 第25回塑性加工連合講演会

共 催 日本塑性加工学会・日本鉄鋼協会, ほか  
日 時 昭和49年11月13日～15日  
開催地 横浜市開港記念館 横浜市中区本町 1-6  
講演申込方法 B6の大きさの用紙に横書きで〔第25回  
塑性加工連合講演会講演申込み〕と題記, ①講演部門  
の分類番号, ②題目, ③概要(50字以内) ④所要時間  
(29分以内) ⑤スライド(有無) ⑥氏名, 年令, 所属  
学協会名および会員資格(連名の場合は講演者に\*印)  
⑦勤務先, ⑧通信先を明記し, 発表申込み整理費1000  
円を添えて(現金書留)下記あてお申し込み下さい。  
講演部門の分類番号 1. 理論および弾塑性解析 2. 計  
測および材料試験 3. 材料および挙動 4. 工具 5. 潤  
滑 6. 加工機械 7. 圧延 8. 押出し 9. 鍛造 10. 引  
抜き 11. せん断 12. 板材成形 13. 転造 14. 矯  
正 15. 表面加工 16. 高速加工 17. 高圧加工

18. 接合 19. プラスチックの加工 20. ロール成形  
21. スピニング 22. その他  
注1 講演内容はすでに発表されたものでも差しつかえ  
ないが, 最近の研究に属するものが望ましい。  
注2 講演は1人1題目に願います。  
注3 発表者は参加学協会員に限る。  
申込先 社団法人 日本塑性加工学会  
港区六本木 5-2-5 トリカツビル3階  
申込締切 昭和49年8月5日(月)  
講演論文集 オフセット印刷とし, 1292字詰原稿用紙4  
枚以内(図, 表, 写真を含む) 詳細執筆要領, 原稿用  
紙などは後日講演者あて幹事学会よりお送りします。  
原稿提出期限 昭和49年9月9日(月)  
諸物価の高騰により, 今回から研究発表者を対象に発  
表申込整理費を申し受けることになりましたのでご了承  
下さい。

### 生産加工技術に関する国際会議

(International Conference on Production Engineering)

共催 社団法人精機学会, ほか  
協賛 日本鉄鋼協会, ほか  
I 時期 昭和49年8月26日(月)～29日(木)  
II 場所 東京プリンスホテル(東京都港区公園3号地  
電話 03-434-4221)

- 1) 標準言語 英語
- 2) プロシーディング  
学術講演会編(約860頁)  
シンポジウム編(約160頁)  
参加登録者に無料配布  
プロシーディングのみ希望者には有料頒布  
会員 10,000円, 非会員 15,000円)
- III その他の行事
  - 1) レセプション
    - a) 8月26日(月), 19:00～21:00
    - b) 東京プリンスホテル, プロビデンスホール
  - 2) バンクエット
    - a) 8月28日(水), 19:00～21:00
    - b) 東京プリンスホテル, プロビデンスホール
    - c) 会費 6,000円/人
  - 3) 夫人行事
    - a) 8月27日(火), 13:20～17:30  
観光バスによる東京下町廻り
    - b) 8月28日(水), 10:15～17:30  
観光バスによる芸術見学
    - c) 無料(参加登録者の夫人のみ)

#### IV 申込について

- 1 申込締切 昭和49年6月15日(土)
- 2 申込方法 所定の申込書に必要事項を記入し, 会  
費を添えてお申込みください。
- 2 申 込 先 精機学会(160 東京都新宿区百人町  
2-22-17 セラミックビル内  
電話 03-362-4030)

## 第 12 回高温強度シンポジウム講演募集

## 新刊紹介

データシートシリーズ 1 第 2 集  
刊行のお知らせ

主催 日本材料学会 協賛 日本鉄鋼協会, 他  
 昨年は, 「材料の力学的挙動に関するシンポジウム」  
 が開かれ諸外国の研究者技術者を交えて, 高温強度の問題  
 も含む広い視野からの議論が行なわれ, その成果はす  
 でに “Proceedings of the 1973 Symposium Mechanical  
 Behavior of Materials” として公刊されていますが, 本  
 年は高温強度の問題に的を絞って標記のシンポジウムを  
 開催することになりました. 多数の方々の応募を期待し  
 ます.

なお, 講演内容はこのような目的に沿うならば, す  
 でに発表されたものでもさしつかえありませんが, でき  
 だけ最近のものを希望します. また, 論文は審査の上,  
 高温強度特集号 (昭和50年3月号) に掲載される予定で  
 す.

期 日 昭和49年10月8日(火) 9日(水)  
 会 場 京都大学楽友会館(京都市左京区吉田近衛通)  
 申込締切 昭和49年7月20日(土)  
 原稿提出締切 昭和49年8月24日(土)  
 申込方法 適当な用紙に下の事項を記入の上お申込下  
 さい.  
 1) 第12回高温強度シンポジウム講演申込と  
 表記  
 2) 演題  
 3) 講演概要 (100 字程度)  
 4) スライド使用の有無  
 5) 氏名, 所属機関, 連絡先 (連名の場合は  
 講演者に○印をつけて下さい.)  
 6) 高温強度特集号の投稿希望の有無  
 申 込 先 日本材料学会シンポジウム係宛  
 (京都市左京区吉田泉殿町1の101  
 Tel. 761-5321)

前刷原稿 前刷はオフセット印刷にしますので, 講演者  
 にお送りする指定原稿用紙5枚以内 (図表,  
 写真を含めて約 7200 字) に明りように墨書  
 し, なるべく余白をさけて下さい.

## 高温強度特集号の原稿締切

☒ 特集号への投稿を希望される方は, 締切が 10 月 31 日  
 (木) となつておりますのでご留意下さい.

本会標準化委員会データシート部会では, わが国で製  
 造される鋼材について, (1)使用者がその特性を理解し,  
 利用しやすいような強度に関するデータ, (2)JIS 原案  
 作成に必要なとするデータ, あるいは(3)標準鋼材の物理  
 的ならびに機械的諸性質に関するデータなどを収集して  
 まいりました. 収集データは整理・総括のうえデータシ  
 ートシリーズとして順次刊行することとし, このたび  
 「データシートシリーズ1 第2集」を刊行いたしました.

収集されておりますデータシートは従来各製造所, 研  
 究所においてそれぞれ実験された結果あるいは課題目的  
 のために関連機関で共同実験された結果が整理編集され  
 ております. 鋼材の製造者, 使用者を問わず, わが国の  
 鋼材についての標準的な性質の全貌を知る唯一の資料と  
 して, 有効に利用いただきますようご案内申し上げます.

書 名 データシートシリーズ1 「質量効果を考慮した  
 機械構造用鋼の機械的性質」—第2集  
 SGr 4, SGr 22, SCM 4, SCM 21, SMn 3,  
 SMnC 21

内 容 SGr 4, SGr 22, SCM 4, SCM 21, SMn 3,  
 SMnC 21 の各鋼種について, (1)化学成分,  
 (2)オーステナイト結晶粒度, (3)焼入性,  
 (4)焼ならしかたさ, (5)焼もどし温度と質量  
 効果, (6)機械的性質, (7)質量効果, (8)シ  
 ャルピー値, (9)断面かたさ

価 格 会員 1000 円, 非会員 1400 円

申込方法 書名, 部数, 送付先, 明記のうえ代金を添え  
 て, 現金書留にてお申込み下さい. (送料本  
 会負担)

申 込 先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会  
 館 3 階 日本鉄鋼協会編集課 (03-279-6021)  
 尚, 既刊本として下記のものもございませので, 合わ  
 せて御利用下さいませ.

データシートシリーズ1 「質量効果を考慮した機械的  
 性質」—第1集 S35C, S45C, S55C, SCM 3,  
 SCM 22

価 格 会員 600 円, 非会員 1000 円(送料本会負担)

データシートシリーズ2 「伸び値と試験片寸法効果」

価 格 会員 550 円, 非会員 950 円 (送料本会負担)

データシートシリーズ3 「高温引張試験」

価 格 会員1400円, 非会員1800円 (送料本会負担)